



# 関中央ロータリークラブ

## 2017-2018 WEEKLY REPORT

**例会日** 毎週木曜日 18時30分

**例会場** 関観光ホテル（関市池尻91-2）

**事務局** 関市西本郷通5-2-53 TEL(0575)24-7332 FAX(0575)23-5278

**会長** 波多野 好文 **副会長** 佐藤 忍 **幹事** 長谷川 修 **クラブ会報委員長** 大藪 太

2017～2018年度国際ロータリー

イアン H.S. ライズリー会長



2017～2018年度関中央ロータリークラブ会長テーマ

### 「親睦からのロータリー」

本日のプログラム 第1934回例会 2019年3月29日（木）

卓話 関市立図書館 館長 塚原 隆文様

テーマ 「本と音楽のつながり」 / 担当 クラブ会報委員会

#### 前例会の記録

第1933回 2018年3月15日（木）

C. A会長エレクト研修セミナー報告

／担当 次期会長・次期幹事

\*ロータリーソング「それでこそロータリー」 斉唱

\*会長あいさつ 波多野好文会長

皆さんこんばんは、今週の1番のニュースは森友問題とかいろいろありましたが、東日本大震災から7年がたったということでした。もう7年、まだ7年といろいろ思う方もみえると思いますが、私はもう7年たったかという印象です。

東日本大震災はマグニチュード9.0の巨大地震とその後の津波で甚大な被害をもたらされました。2018年3月9日の統計では、死者15,895人、行方不明者2,539人を数えています。まさに、戦後最大の災害で、死者が1万人を超えたのは、明治以降では関東大震災、明治三陸地震と3つの災害しかないそうです。死者のほとんどは、津波に巻き込まれた水死で、死者15,895人の内、およそ14,000人以上が



水死だそうです。残りの人は建物に挟まれた等の圧死の人だそうです。又、避難先の寒さ、不衛生さで亡くなった震災関連死も3,647人を数え、未だ暗い影を残しています。皆さん、7年前の3月11日の午後2時46分頃は何をされておりましたか。私はちょうど車によって市役所から帰る途中で、あの長くゆっくりとした揺れは経験していません。福島第一原発のメルトダウンもこの災害に大きな影を残しています。莫大なお金長い年月をかけて、廃炉にする作業が続いていますが、本当に廃炉に出来るのでしょうか。工程表では40年以上かかる様なので、見届けるのはわれわれには無理のようです。次世代に託したいと思います。

政府は近い将来南海トラフの大地震がくると言っています。この南海トラフの地震は東海・東南海・南海地震が連動して起こった場合、太平洋側には20mを超える津波が押し寄せて、死者は津波・圧死合わせると30万人を超えるそうです。幸い関市周辺には、津波は来ませんが、震度は最高で6弱となるようです。岐阜県で怖いのが、阪神大震災や熊本地

震のような断層の直下型の地震です。過去、明治24年（1891）に起きた濃尾地震はこの断層型地震で、内陸で起きる地震の最大級のマグニチュード8.0と言われています。死者は7273人で、建物の全壊は14,200戸と言われています。岐阜県はこの他にも断層が多く、過去にも大きな地震が起きているようです。東北地方での地震の後、長野県、新潟県、静岡県で大きな地震、北陸では能登半島、福井地震、西の方では熊本地震、鳥取、淡路島、阪神大震災がおきて、あと起きていないのはこの東海地方だけである思うのは、決して私だけではないでしょう。

### \*C. A会長エレクト研修セミナー報告

#### 波多野篤志会長エレクト

#### 第1セクション

2018-2019年度ガバナー

木村静之さんの講義

次期RIテーマと地区活動方針です

PETSのテーマ

#### 1 バリー・ラシン次期RI会長テーマ

次期のRI会長はバリー・ラシンさんで出身はバハマの方です。フロリダで37年間医療機関に務められた病院経営のスペシャリストだそうです。

2018-2019年度のRI会長のテーマは「インスピレーションになろう」“Be The Inspiration”です。

これはどの様な意味があるのかと言うと次の様に言われています。ロータリーの奉仕は、人びとの人生、そして地域社会を変えるものです。真に変化を生み出す奉仕をもっと実現するために、私たちは、ロータリーでの自分の役割、そして世界におけるロータリーの役割を、これまでとは違う角度でとらえる必要があります。公共イメージにもっと重点を置き、ソーシャルメディアを活用して**会員基盤を築き、奉仕のスケールアップを助長**してくれるパートナー組織に注目してもらう必要があります。より**持続可能な影響をもたらす**大きなプロジェクトに力を注ぎ、ロータリー年度や任期を超えた活動の研究と計画に時間を費やす必要があります。一番大切なのは、**前向きな変化を生み出し、私たちが今日直面する課題に勇気と希望、そして創造性をもって正面から立ち向かう意欲を**



クラブ、地域社会、そして組織全体から引き出すための「インスピレーション」となる必要があるのです。そして次のガバナーに対して「何か大きなことに挑戦しようというインスピレーションを、クラブや他のロータリアンに与えてください。自分よりも長く、後世にも生き続けるものを生み出すために、行動を起こす意欲を引き出していただきたいのです」と言われたそうです。インスピレーションの意味は、インスピレーション(日本語)= 靈感 ひらめき、INSPIRE (英語) 鼓舞する 心に火をつける、INSPIRATION (英語) 鼓舞する人 心に火をつける人 意欲を引き出す人(力) です。ラシンさんは、ロータリアンに対し、「心に火を付ける人、鼓舞する人になってほしい」と呼びかけています。

#### 2 RIの新しいビジョン声明

国際協議会でのロータリーの新しいビジョン声明が発表されました。私たちロータリアンは、世界で、地域社会で、そして自分自身の中で、持続可能な良い変化を生むために、人々が手を取り合って行動する世界を目指しています。国際協議会の講演でバリー・ラシンRI会長エレクトが次の様に言いました。ロータリーで、私たちは手を取り合います。なぜなら、協力すれば一人よりもずっと強くなれると知っているからです。私たちは行動します。なぜなら、ロータリーは夢想家ではなく、実行する人の集まりだからです。私たちは持続可能な変化を生みます。私たちの活動が終わった後にも末永く続く変化を。世界での変化、地域社会での変化は、私たちが決して会うことのない人や、最愛の人を含め、すべてに影響します。そして、おそらく一番大切なのは、自分自身の中での変化でしょう。マザーテレサは、かつてこう言いました。世界を変えたいなら、うちへ帰って家族を愛しなさい。まずは自分を変えることから始め、そこから外に向けた努力をしなさいと。これは、ロータリーという組織を支える際に、私たち全員が心に刻むべきことです。

#### 3 RIの戦略計画と最近のテーマ

ロータリーの戦略計画は次の3つです。

- ・クラブのサポートと強化  
増強とクラブを活性化していく強化する
- ・人道的奉仕の重点化と増加  
ロータリー財団を通じた人道的奉仕
- ・公共イメージと認知度の向上  
ロータリーの人道的奉仕を世間にアピールする。多くの人に知ってもらいイメージを上げ、クラブに一人でも多くの人に入ってもらうことがクラブのサポートと強化につながる。そうすることによって人道的奉仕が充実してくる好循環にして行きたい。

### People of Action (世界を変える行動人)

公共イメージキャンペーン

2017年アトランタ国際大会でお披露目

- ①世界・地域を変える行動人としてロータリアンを紹介
- ②地域社会に課題、問題があれば、解決策と可能性を見出すロータリアンの姿を表現する
- ③長期的な解決策をもたらすために、ロータリアン、地域社会のパートナー、専門家がビジョンを共有し、アイデアを交換する姿を示す

#### 4 次期ガバナーテーマ

理念をかかげ 意欲を喚起し 共に行動

「理念をかかげ」 1905年にポール・ハリスは心から信じあえる友を求めてロータリーを作りました。初めは親睦と互惠だけのロータリーでしたが、その後、多くの先達によって崇高な倫理と素晴らしい原理が付け加えられました。奉仕の理念は、ロータリアンの倫理を高め、それに基づく実践を重ねてきました。私たちは、職業奉仕という幹の中にある「奉仕の理念」をお互いにしっかりと掲げたいと思います。そして、奉仕の理念を学ぶ場が「例会」であります。職業人としての倫理を向上させ、互いに切磋琢磨し学ぶ場が「例会」であります。例会のプログラムを大切に、例会への出席を大切にしましょう。例会によって理念が改めて会員に浸透されるのです。例会は「人生の道場」です。

「意欲を喚起し」 奉仕活動を担うのは個々の会員です。一人一人の会員を大切に、会員の奉仕に

対する意欲を呼び起こすことができれば、ロータリーはより大きなことができ、地域社会に、世界に、より良い変化を生み出すことができるでしょう。変化を生み出すことへの意欲を、どのように喚起したらいいのでしょうか。一つは、感動体験です。ロータリーでの自らの感動体験を思い起こしてください。また、他のロータリアンの感動体験の話聞きましょ。私たちはそこから意欲をもらいます。皆さんがロータリーに入会してから感動体験を、お互いに話ましょ。それはさらなる奉仕へのインスピレーションとなるはずで

す。  
(公共イメージの向上)ロータリーの地域社会における奉仕と世界における人道奉仕を世間に知ってもらうことは、私たち自身の意欲をさらに喚起することになります。世界中のロータリアンはそれぞれの地域で意義ある活動を続けています。ロータリーの数多くの成功談を世の人々に知ってもらうことは大切です。ロータリーが主唱したポリオ撲滅が達成できれば、ロータリーの歴史的な成果として永く人々の記憶にとどめられることになるでしょう。それはさらなるロータリーの奉仕への励みとなるはずで

す。  
「共に行動」ロータリアンは信頼で繋がっています。ロータリーの仲間みんなで奉仕活動を実践ましょ。一部のメンバーだけの活動ではなく、多くの会員が参加して行うことによりさらに大きな良い効果が得られます。例えば委員長だけの活動ではなく多くの会員が参加するよう、意欲を喚起したいものです。主役は各クラブです。クラブの会長初めリーダーの皆さんは、ガバナー補佐や地区委員会から様々なヒントを得ることができます。地域社会における奉仕活動、国際奉仕、次代を担う青少年の育成のための奉仕活動、6つの重点項目として取り上げられる人道奉仕、ロータリー財団の地区補助金を活用した奉仕プロジェクト、グローバル補助金を活用した奉仕プロジェクト…。「世界を変える行動人」キャンペーンは、インパクトのある活動によってロータリーが変化をもた

らすということを、世界に向かって宣言するものです。

## 5 次期地区重点目標

2018-19 年度 地区重点目標

1 「奉仕の理念」の浸透と例会の充実

2 会員基盤の強化、意欲の喚起

1. 新会員を
2. 女性会員を
3. 会員の意欲を喚起 退会防止・クラブを元気に  
充実した活動に繋がる

3 奉仕活動の充実

クラブの奉仕活動を支える地区委員会

地区奉仕プロジェクト部門(社会奉仕・国際奉仕)

地区青少年奉仕部門・地区ロータリー財団部門

地区米山記念奨学部門

ロータリー財団に関しては

地区補助金・グローバル補助金

4 公共イメージと認知度の向上

奉仕活動を実施するときに

視覚的に伝える

チラシ・パンフレット・写真・インターネット

ロータリーロゴの入った看板・横断幕

ロータリーの価値を物語る効果的なストーリー

ロータリーがもたらす地域社会への影響を伝える

5 ロータリー賞、RI 会長特別賞に挑戦しよう

3つの戦略的優先項目に沿って

- ・クラブのサポートと強化
- ・人道的奉仕の重点化と増加
- ・公共イメージと認知度の向上

(最後に) 主役は各クラブです。

ガバナー、ガバナー補佐、地区委員会は、各「クラブ」をサポートします。クラブ会長はクラブの中で、ロータリアンは地域社会で、世界で、「インスピレーションになろう」で、締めくくられました。

## 第2セクション

次期地区研修リーダー 劔田廣喜さんの講義

ロータリーの奉仕の理念、職業奉仕の考え方、例会のあり方、情報提供(研修)について話されました。まず初めに PETS とは何か

President-Elect Training Seminar

President Pre(-before)+ sid『前に座る』→「司会をする」→「会長」Elect その役職に選ばれている人→クラブ会長の役割

**充実したロータリークラブを目指してクラブを導くこと。** Training (トレーニング)「上から下に行われる」、「均一性が要求される」決まった列車(トレン)で、決まったコースで、皆が同じ場所に行くというイメージ。Seminar (セミナー) 本日のセミナーで、種を植え付けてもらって、それをロータリークラブに持ち帰り、大事に、大事に育ててください。ロータリーの奉仕の理念は、「他者を思いやり、他者のために尽くす」ことです。

職業奉仕の考え方 顧客の満足度を最優先して、自らの職業を通じて他人に奉仕する→リピーターと新規顧客の獲得→継続的事業の発展→職業倫理の高揚に繋がるということですが、世界のロータリーでは自分の職業上のスキルを生かした奉仕活動は、個人が行うものであれ、クラブが行うものであれ、すべて立派な「職業奉仕」の活動として活発に実践されている！

例会のあり方は、世の中のあらゆる有用な職業から選ばれた裁量権を持った職業人が週一回の例会に集い、例会の場で職業上の発想の交換を通じて分かち合いの精神による事業の永続性を学び、友情を深め、自己改善を計り、その結果として奉仕の心が育まれてきます。この例会における一連の活動のことを「親睦」と呼ぶのです。例会で高められた奉仕の心を持って、それぞれの家庭、職場、地域社会に帰り、奉仕活動を実践します。これが理想とされるロータリーライフです。

最近のロータリーの定義が変わりました。

・世界各地のロータリー会員に、「あなたがロータリーで熱心に活動する理由は?」と問いかけたところ、次の3つに集約される答えが返ってきました。1) ロータリーは、世界のさまざまなリーダーの集まりです。2) ロータリーは、会員が職業の専門知識を生かして地域社会のニーズや問題に取り組んでいる。3) ロータリーは、世界中のために積極的に奉仕活動を行っている。近年のクラブのあり方が時代と共に変わってきました。各クラブの自由

度が増してきました。ここで大切なのは、各クラブの戦略計画です。クラブの戦略計画という構えてしまいますが、大切なのは現在のクラブの活性化と3年後5年後のあるべき姿を、皆様方全員でしっかり話し合っていたいただきたいということです。20人のクラブと200人のクラブではおのずと違ってきますが、要は皆様のクラブがこのままで本当に良いのか、皆様方の言葉で、皆様方の議論を通じて、真剣に考え意見を集約してくださいということです。「現状に安住するのが一番楽ですが一番悪いことです。私たちのより良いロータリーを作るために!」とポールハリスも言っておられます。

### 第3セクション

パストガバナー 村橋 元さんの講義

会員基盤強化とクラブの活性化

- ・バリー・ラシン RI 会長エレクトから与えられた目標
  - ・木村静之ガバナーエレクトからの重点目標
  - ・2018-2019 年度 重点目標達成に向けて
- バリー・ラシン RI 会長エレクトから与えられた目標
- ・私たちロータリアンは、世界で、地域社会で、そして自分自身の中で、持続可能な良い変化を生むために、人びとが手を取り合って行動する世界を目指しています。
  - ・私たちは行動します。なぜなら、ロータリーは夢想家でなく、実行する人の集まりだから
  - ・世界での変化、地域社会での変化は、私たちが決して会うことのない人や、最愛の人を含め、すべてに影響します
  - ・ロータリーの新しいビジョン声明をつくるためのインスピレーションとなりました
  - ・ロータリーの会員数は、この20年間ずっと120万人程度で低迷しています。成長しておらず、会員の高齢化が進んでいます
  - ・意欲をもたないクラブが、あまりに多すぎます。ロータリーが世界でどんな活動をしているのかわからず、財団のプログラムを知らないクラブ、参加方法がわからないクラブも

- ・ロータリーは会員組織です。奉仕活動を通じてより良い世界を築きたいと願うなら、会員を大切にしなければなりません。
- ・クラブの問題を一人で解決することが皆さんの仕事ではありません。可能性を最大限に発揮しようというやる気を引き出すことです。
- ・汚染、環境の悪化、気候変動は、6つの重点分野のすべてにおいて、ますます影響を与えています。環境汚染は、毎年、170万人の子どもの死亡の原因となっています。
- ・それは、今行っている奉仕が、明日、そして後世にもずっと、人びとのより良い生活につながっていくよう、あらゆる手を尽くすことです。
- ・私が住む国では、2100年までに水面が2m上昇します。これは私の住む祖国や、多くのカリブ海諸国や海拔の低い地域が、50年後にはなくなってしまうことを意味します。
- ・これを実現するために、インスピレーションになってください。
- ・私たちの標語「超我の奉仕」からインスピレーションを得てください。そして、ロータリーを通じて行動するよう、人びとにインスピレーションを与えてください。
- ・変化をもたらすインパクトのある活動を通じてロータリーが地域社会の「インスピレーション」となることを願っています。
- ・この30年間にロータリー全体を一つに結び付けてきた活動「ポリオ撲滅活動」がインスピレーションとなったのです。
- ・ポリオ撲滅は、一つの疾病がなくなること、そして、ロータリーの新しい章の始まりを意味します。その章では奉仕における持続可能性が、私たちのあらゆる活動の前面と中央に位置づけられるでしょう。

木村静之ガバナーエレクトからの重点目標

2018-2019 年度テーマ

「理念をかかげ 意欲を喚起し 共に行動」

- ・「理念をかかげ」…職業奉仕という幹の中にある「奉仕に理念」をしっかり掲げ、「人生の道場」である例会に出席しましょう。

・「意欲を喚起し」…ロータリーでの感動体験を話しましょう。そして、ロータリーの地域社会における奉仕と、世界における人道奉仕を世間に知ってもらいましょう。

・「共に行動」…ロータリーの仲間みんなで奉仕活動を実践しましょう。「世界を変える行動人」キャンペーンは、インパクトのある活動によって、ロータリーが変化をもたらすということ、世界に向かって宣言するものです

・2018-2019年度 重点目標達成に向けて

1. 「奉仕の理念」の浸透と例会の充実
2. 会員基盤の強化、意欲の喚起
3. 奉仕活動の充実
4. 公共イメージと認知度の向上
5. ロータリー賞、RI 会長特別賞に挑戦しよう

#### 第4セクション

ガバナーエレクト 木村 静之さんの講義

公共イメージと認知度の向上

5つの目標

- ①イメージとブランド認知を調和させる
  - ②行動を主体とした奉仕を推進する
  - ③中核的価値観を推進する
  - ④職業奉仕を強調する
  - ⑤ネットワークづくりの機会、ならびにクラブ独自の活動について広報するようクラブに奨励する
- 公共イメージの向上には、ロータリーがどのような組織でどのような活動によりいかに地域社会に貢献しているかを知ってもらうことが大切です。公共イメージと認知度向上のための具体的方法として、市民に参加してもらった奉仕活動や市民とともに行う奉仕活動・青少年を対象とした奉仕活動などがメディアにも受け入れられやすい。また、メディアとの協力として、新聞社やケーブルテレビが有効です。

第5 第6セクションは各専門部会の講習です

○ロータリー財団・地区補助金・グローバル補助金. 奨学金.VTT 次期ロータリー財団委員長 平井義之  
○奉仕プロジェクト

次期奉仕プロジェクト部門委員長 宮崎弘夫

○社会奉仕 次期社会奉仕小委員長 河野等

○国際奉仕 次期国際奉仕小委員長 篠原一行

○インターアクト

次期インターアクト部門委員長 布目美智男

○ローターアクト

次期ローターアクト小委員長 伊藤正純

○青少年育成 次期青少年育成小委員長 下田徳彦

○青少年交換 次期青少年交換部門委員長 永尾壽啓

○米山記念奨学

次期米山記念奨学部門委員長 村瀬祐治

などのお話がありましたが、地区研修協議会でそれぞれの委員長さんが聞かれてお話しされたほうが良いので、今回は割愛させていただきます。次期ガバナー補佐は、各務原かかみのロータリークラブ 可児昌則さんです。次期地区大会は、10月13・14日 岐阜都ホテル・国際会議場にて開催されます。岐阜加納ロータリークラブ。第1日目の基調講演 第2710地区山口県岩国西ロータリー吉村パストガバナー。第2日目の記念講演 アグネス・チャン を予定しています。以上が、研修内容です。その後、親睦会を行い19時ごろ終了しました。

#### \*出席委員会

会員数31名、本日の出席19名です。

#### \*ニコボックス委員会

・会長・幹事  
波多野会長エレクト、研修セミナー参加ご苦勞様でした。次年度に向けセミナー報告の程お願いします。

・西田健一君  
先日家内の誕生日には素敵なプレゼントを頂きありがとうございました。家内と分け合って食しました。

・小澤重忠君  
波多野篤志君、会長エレクト研修セミナー出席ご苦勞様です。

19名のご投函ありがとうございました。

#### \*幹事報告

・各務原かかみのRCより例会場変更のご案内拝受

#### <次例会の案内>

第1935回 2018年4月3日(火)

「3RC合同花見例会」

担当：会長・幹事・親睦活動委員会